

年度	学年	教科	授業数/週
令和6年度	3	数学科	4
教科書			
東京書籍「新しい数学」			
補助教材			
新学社「数学の問題ノート」③			

年間指導目標
<p>■平方根の意味を理解し、それをを用いた計算ができるようにするとともに、式の展開や因数分解に習熟し、必要に応じて式を変形できるようにする。また、二次方程式について理解し、それをを用いることができるようにする。</p> <p>■図形の性質について、三角形の相似条件を基にして確かめ、論理的に考察して表現できるようにするとともに三平方の定理を理解し、それをを用いることができるようにする。</p> <p>■具体的な事象を調べることを通じて、関数 <math>y = ax^2</math> について理解するとともに、関数関係を見だし考察することができるようにする。</p>

観点	評価材料	評価基準
知識 ・ 技能	・ 定期テスト (知識・技能)	各評価材料の合計が、おおむね80%以上はA評価、30%以上80%未満はB評価、30%未満はC評価とします。
思考 ・ 判断 ・ 表現	・ 定期テスト (思考・判断・表現)	各評価材料の合計が、おおむね70%以上はA評価、30%以上70%未満はB評価、30%未満はC評価とします。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・ パスカル ・ 小テスト ・ ワーク ・ 授業ノート 等	各評価材料の合計が、おおむね80%以上はA評価、30%以上80%未満はB評価、30%未満はC評価とします。

注意事項	基礎が固まったら色々な問題にあたってみることも大切です。初めは解けなくても解説をよく読んで、いろんな考え方があることを知るのも勉強です。より良い解き方はないかを考え、柔軟な発想ができるようにしましょう。
アドバイス	授業で、先生の説明・仲間の話を聞くことと、問題に取り組むことの切り返しを素早くすることが大切です。授業中のグループ学習を有効に活用していきましょう。わからなければ質問し、疑問点を残さないことが大切です。家庭学習の習慣をつけるためには、パスカルにしっかりと取り組みましょう。